

森林総合研究所REDD研究開発センター 令和元年度国際セミナー

# REDDプラス・始動元年2020

持続可能な開発のための国際移転可能な成果に向けて

REDD-plus Start-up Year 2020

Roadmap to Result-based and Transferable Outcomes for Sustainable Development

基調講演

マルゴラザタ・ブシュコ・ブリッグス

(国連食糧農業機関(FAO)/UN-REDD プログラムオフィサー)

ニイ・ニイ・キョウ

(ミャンマー連邦共和国天然資源・環境保全省 森林局局长)

2020年  
1月21日  
(火)

10:00~17:30 (9:30開場)

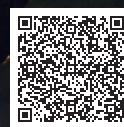
東京大学 伊藤謝恩ホール

(東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線「本郷三丁目」駅徒歩7分)

日本語英語・同時通訳 参加無料



参加申込  
(1月10日〆切)



プログラム詳細  
(<http://redd.ffpri.affrc.go.jp>)

お問い合わせ：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所REDD研究開発センター国際セミナー運営事務局  
国際緑化推進センター(担当：佐野・倉本) TEL: 03-5689-3450 E-mail: redd-plus@jifpro.or.jp

主催：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

共催：国際熱帯木材機関(ITTO)、国際協力機構(JICA)、森から世界を変える REDD+ プラットフォーム

後援：林野庁、外務省、環境省、日本リモートセンシング学会、日本森林学会、日本熱帯生態学会、森林計画学会

# REDDプラス・始動元年2020

## 持続可能な開発のための国際移転可能な成果に向けて

### REDD-plus Start-up Year 2020

Roadmap to Result-based and Transferable Outcomes for Sustainable Development

#### 開催趣旨

2005年に開始されたREDDプラスにかかる国連気候変動枠組条約(UNFCCC)における議論は、2015年の第21回締約国会合(COP21)で採択されたパリ協定において位置づけられました。パリ協定は2018年12月に実施されたCOP24で緩和成果の国際移転に関する条項を除く全ての実施指針に合意し、2020年の本格的実施に向けた取り組みが開始されています。

森林総研では2010年にREDD研究開発センターを立ち上げ、我が国が発案した二国間クレジット制度(JCM)によるものをはじめとする、REDDプラス活動の支援と実施による緩和成果の国際移転を可能するための様々なツールを研究開発してきました。

今年度は林野庁補助事業REDD+推進民間活動支援事業の最終年度に当たり、本国際セミナーにおいてはこの集大成として、本事業による研究開発の成果を中心に、信頼性の高い実施や支援の取り組みを行うのに有効なガイドラインやツールについて発表します。

また、わが国が推進する二国間クレジット制度(JCM)なども含まれる「協力的アプローチ」による緩和成果の国際移転、約束草案の達成への貢献を可能とする仕組みの展望、今後更なる活発化が見込まれるICAQなどの自主的なクレジット制度の仕組みや方向性、VCS、CCBなどの認証制度によるプロジェクトとFCPFカーボンファンドとの協力のグッドプラクティス等、担当者や実際に活動する民間企業からの登壇者による報告を通じて情報共有・意見交換を行い、我が国の民間セクターを含む様々なステークホルダーの更なる参加による、多様なREDDプラスのポテンシャル拡大を展望する機会を提供することを目的とします。

また、クックブック、アネックス、その他文献等の成果物や一般公募を含むパネルの展示を行い、休憩時間等にも成果の普及に努め、参加者の情報交換に資するものとします。

#### 基調講演者

##### マルゴラザタ・ブシュコ・ブリッグス

国連食糧農業機関(FAO)/  
UN-REDD プログラムオフィサー

森林政策および資源部のチームリーダーとしてFAO REDD+ チームを率いており、UN-REDD プログラムではFAO コーディネーターとして任務を遂行。FAO 入局以前は環境に関する様々な国際的な活動に参加し、各国政府、公的機関、民間部門の上級アドバイザーなどを歴任。



##### ニィ・ニィ・キョウ

ミャンマー連邦共和国天然資源・環境保全省  
森林局長

1987年に入庁し、森林調査、森林管理計画、社会林業などの分野を歴任。1995年よりドイツのゲッティンゲン大学に学び、2003年森林科学の博士号を取得。2006年から2008年にかけて、国際熱帯木材機関(ITTO)が実施した「持続可能な森林経営のためのチーク生育域内外の保全」に国家プロジェクトマネージャーとして参画。2012年より現職。



#### セミナー概要

##### 基調講演1: REDDプラスの歴史と展望

マルゴラザタ・ブシュコ・ブリッグス (FAO/UN-REDD))

##### 基調講演2: REDDプラスの取り組みと展望

ニィ・ニィ・キョウ(ミャンマー連邦共和国天然資源・環境保全省)

##### セッション1: REDDプラスの技術的ツールとガイダンス

佐藤 保(森林総合研究所)  
サンドロ・フェデリチ(気候変動に関する政府間パネル(IPCC))  
ルース・トゥリア(パプアニューギニア森林公社)

##### セッション2: REDDプラスの市場的・認証制度展望

江原 誠(森林総合研究所)  
森田 隆博(国際協力機構(JICA))  
宇賀 まい子(環境省)  
シルビア・マイタ(AIDER, ペルー)

##### パネルディスカッション

浦口 あや(コンサベーション・インターナショナル・ジャパン)  
基調講演、セッション登壇者が参加

お問い合わせ 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 REDD研究開発センター国際セミナー運営事務局  
国際緑化推進センター(担当: 佐野・倉本)  
TEL: 03-5689-3450 E-mail: redd-plus@jifpro.or.jp  
主催 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所